

三原市民と市長の「みらいトーク」(第24回) 実施結果

- 1 日 時 令和5年5月26日(金) 18時～19時30分
- 2 場 所 三原市役所本庁舎8階 会議室801
- 3 テーマ 子ども・子育て支援
- 4 参加者 子育て世代 7名(ファミリー・サポート・センター依頼会員
3名, 児童館「ラフラフ」サポーターズ4名)
岡田市長
- 5 内 容

テーマ1 : 子どもと訪れてよかった、子どもが喜んだ場所について

【参加者】

- ・家から道の駅「神明の里」まで、子どもと歩いて行ったことがある。
- ・糸崎の三菱重工前の陸橋が好き。真ん中に坂道があり、小さい子も通ることができる。家から歩いて、そこで電車を見ている。
- ・子どもが小さい頃は、児童館以外で、地域子育て支援センターやポポロなどによく行っていた。
- ・子どもが保育園に入園した後は、二中跡地の公園が広く、行っていた。
- ・子どもが小学校に上がり、自転車に乗るようになってからは、須波や古浜での路地歩きをしていた。
- ・桜の時期は歩いて中央公園や、佐木島にも行った。島のボランティアの方と交流したこともある。シーズンによって、いろいろ行っている。
- ・図書館やラフラフによく行っている。
- ・須波の砂浜がよかった。子どもと一緒にリフレッシュできた。いろいろな人に声をかけてもらって元気になれた場所。
- ・平日は、ラフラフと公園のローテーション。
- ・週末は、八天堂ビレッジが好きでよく行っている。遊具もあり、ポニーも2頭にいる。そこでアイスクリームを食べて帰っている。
- ・果物狩りで、果実の森公園に行っている。
- ・去年からキャンプを始め、昨年、大和のNスタキャンプに行った。
- ・家族と宇根山のキャンプ場にも行った。初めてだったが、楽しかったので、一泊の予定がもう一泊した。

テーマ2：子育てするうえでの気付き、困りごと・課題について

【参加者】

- ・3人目の妊娠中に受診した際、子ども2人を連れて行ったが、看護師を含めて誰も預かってくれなかった。そういった際に預かってくれる場所がない。
- ・ファミサポを利用しにくいケースで、ファミサポで保健師の資格を持っているなどの情報があればよいと思う。
- ・働いていないと、上の子の行事の時に、1歳未満の子を預けられる場所がない。連れて行くと、下の子につきっきりになってしまう。
- ・1歳を過ぎないと、一時保育が使えない。
- ・コロナ禍では、「1人しか連れて行ってはいけない」や「下の子は連れてこないでください」と言われることが多かった。
- ・自分が体調不良でも、子どもの世話をしないといけない。子どもが小さい時に預けることに困った経験はある。
- ・病気の時はずつすかもしれないと思うので、ファミサポではなく、気軽に預けられる資格を持った人がいる場所・施設が必要。
- ・ファミサポのボランティアの方は、一緒に子どもを育ててくれるイメージがある。
- ・「困っているが、どうしたらいいか」と相談したら、アドバイスをもらえる施設があると嬉しい。
- ・保育所ではなく、一時保育よりも気軽に簡単に使える施設があると助かる。
- ・幼稚園に呼ばれたら、幼稚園の別室で下の子を一緒に見てもらえると助かる。そこで、ファミサポの人に見てもらおうというのもよい。安心する。
- ・イベントの時に、預ける場所があるのはよい。
- ・一時保育は、面談や予約など、非常に手間がかかる。
- ・電話をしたら、空いているところを教えてくれるなどの相談ができる場所があれば助かる。
- ・三原に夜間の救急窓口があればよい。
- ・数日前から予約しなくても、気軽に預けられる場所がほしい。

テーマ3：児童館「ラブラフ」の良いところについて

【参加者】

- ・ラフラブは利用しやすい。週に2回くらい利用し、一日に朝夕で2回行くこともある。
- ・スタッフの方が優しく、おもちゃや本が揃っている。
- ・子どもは、家では色々制限ができてしまうが、ラフラブは思い切り遊べる場所。これからも利用していきたい。
- ・以前は料理教室などにも参加した。最近では、コロナ禍でできてないが、良い思い出になっている。また、参加したい。
- ・今は、子どもたちの前で絵本を読んだりしている。最初は照れていたが、やってみると楽しかった。ダンスもみんなノリノリでしている。子どもも楽しそうにしている。そうした経験はなかなかできない。
- ・夫がラフラブのサポーターをしている。人前は苦手なタイプだが、楽しくやっている。父親の姿を見て、娘も喜んでいる。家族の思い出ができるのも嬉しい。
- ・ラフラブはいろんな年代の子どもがおり、年上の人たちと関われるので、子どもも嬉しいし、親もママ友・パパ友がたくさんできて楽しい。
- ・父親が一人で行っても、パパが何人も来ていたりするので、行きづらい場所ではないと思う。
- ・家で経験できないことを子どもと一緒にできる。七夕やクリスマスなどのイベントも思い出になっている。
- ・子育てする中で声をかけてもらえるのはありがたい。声をかけてもらえることはとても大切。関係ができて、サポーターズになった。
- ・子育てが終わっても、つながれる場になっている。
- ・子どもがスタッフに入りたがっていた。理由は「お姉ちゃんお兄ちゃんたちにやってもらったことを自分もしたい」とのこと。
- ・学校では制限されることもあるが、ラフラブだと活動の幅が大きい。目標もできる。親も想像しやすい。子どもが大きくなっても帰れる場所であってほしい。
- ・小さな声掛けがあるあったかい場所、助けられた場所。
- ・親同士もつながられる場所。
- ・子どもを一人一人名前前で呼んでくれた。子どもたちも、とても楽しそうに話をしていた。

- ・預かりもしてほしかったので、ファミサポを利用することになった。知らない人に預けるのは不安があったが、マッチングもしてもらい、スタッフの方も笑顔で声かけてしてもらえて信頼できた。ファミサポの提供会員は家族以外で、子どものことを考えてくれる人。
- ・預かってくれる方も子どものことを考えてくれていた。保育園に預けていない人にはありがたい場所で、楽しいことがつながっていく場所。
- ・子育てしやすいまちだと思う。
- ・父親の立場からは分かりにくかったが、支援の輪ができているという三原の良さを知ることができた。